

INFO-HIRO-21

第 493 号 2020 年 9 月 1 日
弘前大学総務部総務広報課

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベント・行事の実施について、変更が生じる場合がございます。最新の情報は弘前大学公式ホームページ（<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>）にてお知らせいたします。

学内掲示板

弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編
「Radiation Environment and Medicine Vol.9 No.2」
(A4変形判・pp.1-113、定価1,100円+税)を出版しました。

～紹介文～

弘前大学は、原子力関連施設を擁する地域的な背景を踏まえ、平成 20 年度から被ばく医療体制の整備、被ばく医療に関わる教育・研究ならびに人材育成に取り組み、これまで多くの成果をあげてきました。東日本大震災後の原発事故対応ではこの成果が避難所での支援活動や様々な学術調査などの社会貢献につながり、こうした被ばく医療への取り組みは弘前大学の意欲的かつ特色ある事業の一つとなっております。

また平成 27 年に原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」に指定され、平成30年度末には指定更新を受けて引き続き両センターの活動を継続する事となりました。

これまでの弘前大学による被ばく医療関連の人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicineは、第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名をRadiation Environment and Medicineに改めました。

第9巻2号には、放射線生物影響、放射線計測等の9報の論文が掲載されております。今後も、放射線防護、線量評価、生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、疫学調査、臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。

皆様からの投稿をお待ちしております。



イベントのお知らせ

「2020年度 放射線看護ベーシックトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

放射線を用いる検査及び治療はますます高度化・専門分化し、放射線診療の適応範囲は年々拡大しています。看護師は放射線診療を受ける患者の看護に携わっており、近年は医療の現場だけではなく、原子力・放射線災害の際にも被災者にとって最も身近な医療の専門職として、最適な対応をすることが期待されております。しかしながら、看護基礎教育では「放射線看護」に関する教育は十分とは言えず、看護基礎教育や卒業後の継続教育でも放射線に関する学習の機会は多くはありません。

弘前大学大学院保健学研究科では、平成29年度から放射線看護教育支援センターを設置し、看護教員・看護職を対象とした研修会等を行っています。

本研修会は、平成28年度に文部科学省の「機関横断的な人材育成事業」に3年計画で採択された公益社団法人日本アイソトープ協会の「看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング」の後継企画であり、本学主催での開催は今年で2年目となります。放射線看護関連科目を担当できる教員の育成や放射線及びその健康影響・リスクについての知識を身につけた看護職の育成が目的となっております。

興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。



【開催日時】 令和2年10月31日（土） 13：00～17：20（質疑応答を含む）

【開催形式】 Web開催（Zoom使用予定）

【プログラム】

時間	内容
13:00～	開講式
13:10～14:10	●測定実習①自然放射線の理解（テキストの演習1, 2, 3） 放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
14:10～14:20	休憩
14:20～15:20	●測定実習②外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離） ※電卓使用
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策（テキストの演習5） 撮影現場における線量の把握
16:30～17:00	Q&A
17:00～17:10	大学院の紹介
17:10～17:20	閉講式・アンケートの依頼

※別途、事前学習としてeラーニングの講義を受けていただきます。

*このほか詳細は本事業HPでご確認ください。

<被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP>

<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

【対象者】 看護職の方、看護教育に関わる教育機関の先生方（先着20名）

【参加費】 無料

※別途テキストの購入が必要です。

「看護と放射線－放射線を正しく理解する－」

（日本アイソトープ刊行／定価1,800＋税）

【申込み方法】 事前申し込み制。次の専用フォームからお申し込みください。

<放射線看護ベーシックトレーニング 申し込みフォーム>

<https://forms.gle/EMzqDdr7BTij6f467>

○申込み締切： 令和2年10月5日（月）

※申込先着順で定員に達し次第、お申し込み終了とさせていただきます。

【共催等】

共催：弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター／放射線部

協賛：公益社団法人日本アイソトープ協会

【お問合せ先】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話： 0172-39-5518 FAX： 0172-39-5912 メール： hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

令和2年度弘前大学大学院保健学研究科FD講演会開催のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科では、令和2年度FD講演会を下記のとおり開催いたします。事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時：2020年9月14日（月） 18時00分～19時30分

2. 会場：弘前大学医学部保健学科 第63講義室

※状況によりオンライン開催へ変更する可能性があります

3. 講演名：「オンライン授業における学力の担保と授業評価」

4. 講師：深澤良彰先生

早稲田大学理工学術院 教授

早稲田大学図書館長

日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOC）副理事長

5. 参加費：無料

6. 問合せ：弘前大学大学院保健学研究科学務グループ（電話0172-39-5911）

令和2年度FD委員会講演会

オンライン授業における 学力の担保と授業評価

講師：深澤良彰先生
早稲田大学理工学術院 教授
早稲田大学図書館長
日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOC）副理事長

参加費無料
事前申込不要

日時：9月14日（月）18：00～19：30
場所：弘前大学医学部保健学科 63講義室
※状況によりオンライン開催へ変更する可能性があります

○プログラム
18：00 開会挨拶 研究科長：齋藤陽子
18：05～19：30 講演（質疑応答含む）

【主催】弘前大学大学院保健学研究科FD委員会

学 内 掲 示 板

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では、「発見！国立大学」において、内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学COIの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第57号」

https://www.janu.jp/report/files/janu_vol57.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<https://www.janu.jp/report/>

その他、第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：INFO-HIRO-21は毎月1日、月1回発行しています。

講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿は発行予定日の7日程度前までに、掲載希望の旨付記し、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029